

(款) 50消防費 (項) 5消防費 (目) 5常備消防費

◎消防一般の経費

消防施設管理事業

【 消防総務課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち
地域安全: 災害対策、交通事故や犯罪などへの安全対策が進められているまち

【事業の目的】

対象 消防職員等

意図 庁舎の老朽化による事故を防止し、公務が円滑に執行できる職場環境を確保すると共に、災害時の拠点として活用できるよう機能を維持するため。

効果 災害時の拠点となる消防庁舎の機能を維持することができる。

【事業の内容】

- (1) 消防施設管理事業
・ 各署所の修繕、保守点検等消防庁舎の維持管理を行った。

【事業費】

(単位: 千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
29,351	34,196	33,479		717

主な支出内訳

・ 消防施設管理事業	
各署所維持修繕料	9,199
消防用設備等点検手数料	145
自家用電気工作物保安管理業務手数料	810
自家用発電機定期点検手数料	166
庁舎清掃管理業務委託料(本部 外8カ所)	22,680
ヒートポンプチラー保守点検委託料	448

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	<input type="checkbox"/> サービス部門 <input checked="" type="checkbox"/> 支援部門 消防-03 消防施設管理事業						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	221 消防施設管理事業					
主管課	消防総務課	関連課					
分野名	地域安全						
目標 (目標値)	防災拠点である消防庁舎の整備を図ります。						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	33,479千円	45,132千円	37,462千円			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	33,479千円	45,132千円	37,462千円			
	人員配置数	1.0人	1.0人	0.5人			
	人 件 費	9,391千円	9,681千円	4,832千円			
協働の パートナー							
事務事業 運営経費	総事業費	42,870千円	54,813千円	42,294千円			
	市民1人当 りの経費	243円	312円	241円			
	対象者1人 当りの経費						
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※		
						※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している							
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・9施設ある消防施設は、今泉出張所以外は経年劣化が進み、そのため、修繕を必要とする箇所が多い。 ・当直勤務の特殊性から職員の拘束時間における、ストレスなどの負担を少しでも軽減できるように、施設の環境整備を図っていきたい。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・職員ができる範囲の修繕については、極力実施している。 ・当直者の生活部分を最優先して、修繕を実施した。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・修繕が完了していない箇所が残っている。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・修繕が完了していない箇所は、優先順位をつけ実施していく。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 無
	24時間勤務する庁舎なので、職員の健康管理に最大の配慮をして、今後修繕を行っていく。				
担当課長氏名:		堀 英彦			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 無
	防災拠点の要となる施設管理を行っていく。				
担当部名	消防本部	部長名	畑 光則		